

JALグループ、第19回「JAL東福寺音舞台」を開催！

2006年7月4日

第 06039号

JALグループは、9月9日(土)に京都の「臨済宗大本山 東福寺」にて“JAL東福寺音舞台”を開催いたします。

JAL音舞台は、「東洋と西洋が出会うとき」をテーマに、日本を代表する寺院に舞台を設け、国内外の一流アーティストを招き、世界中で親しまれている音楽やパフォーマンスのコラボレーションを「奉納」する文化イベントとして1989年より毎年開催されております。

今年の舞台「東福寺」は、摂政九条道家が、奈良における最大の寺院である東大寺に比べ、また奈良で最も盛大を極めた興福寺になぞらえようとの念願で、「東」と「福」の字を取り、京都最大の大伽藍を造営したお寺です。嘉禎2年(1236年)より建長7年(1255年)まで19年を費やし完成されました。

出演はスケールの大きな歌唱力で定評のある平原綾香をはじめ、京胡演奏の第一人者といわれる呉汝俊(ウー・ルーチン)が、美しくライトアップされた「東福寺」で世界トップクラスのパフォーマンスを披露します。ぜひ一夜限りの幻想的な芸術空間をお楽しみください。

この「JAL東福寺音舞台」に抽選で1,500組3,000名様をご招待いたします。またJALツアーズでは「JAL東福寺音舞台」の鑑賞券、航空券、宿泊をセットにした2日間・3日間の鑑賞ツアーをご用意いたしました。[発売開始は7月6日(木)14:00を予定しています。]

「JAL東福寺音舞台」の概要と鑑賞券の応募方法、鑑賞ツアーについてのお問い合わせについては以下をご覧ください。

「JAL東福寺音舞台」概要

- ・ 開催日時 2006年9月9日(土) * 雨天決行
第1回 17:30～19:00予定(17:00開場)/第2回 20:00～21:30予定(19:30開場)
* 開演時間は都合により変更されることがございます。
- ・ 会 場 東福寺内 特設会場
- ・ 主 催 京都仏教会・東福寺・毎日放送
- ・ 提 供 日本航空
- ・ 出演者 平原綾香、呉汝俊(ウー・ルーチン) 他

応募方法・お問い合わせ

<鑑賞券応募方法>

「JAL東福寺音舞台」鑑賞ご希望の方は、官製はがきに①住所②氏名③年齢④電話番号⑤メールアドレス(お持ちの方)をご記入の上、下記あて先に8月18日(金)(当日消印有効)までにお申し込みください。インターネットからもお申し込みいただけます。

なお、応募多数の場合は、抽選の上、鑑賞券の発送をもって発表にかえさせていただきます。

あて先 〒530-8090 大阪中央郵便局留
「JAL東福寺音舞台」公演事務局宛
インターネットアドレス: <http://mbs.jp/oto>

<お問い合わせ先>

「JAL東福寺音舞台」に関するお問い合わせ

JAL東福寺音舞台公演事務局
TEL 06-6371-9157(平日 11:00～18:00)

JAL TOURS「JAL東福寺音舞台」2日間/3日間 鑑賞ツアーに関するお問い合わせ

※発売開始は7月6日(木)14:00を予定しています。

JALツアーズ リン・リン・ダイヤル (9:00～17:30)
札幌:011-233-1401 東京:03-5460-8221 福岡:092-733-4110 沖縄:098-861-4633

以 上

添付資料:①第19回「JAL東福寺音舞台」出演者プロフィール
②「JAL音舞台」の歴史

添付資料①

第 19 回「JAL 東福寺音舞台」出演者プロフィール

平原綾香

Ayaka Hirahara

ヴォーカル

稀代の若手女性ヴォーカリスト。2003年に「Jupiter」でデビューし、独自の日本語詩と圧倒的な歌唱力で一躍注目を浴びる。声域の広い声と雄大なイメージのサウンドで多くのファンを魅了。数々の賞を獲得する。テレビドラマや映画の主題歌、トリノ・オリンピックのイメージ曲等の音楽や、アルバムのリリースに全国ツアー、と精力的に活動し、期待感が各方面から一層高まっている。

呉汝俊(ウー・ルーテン)

Wu-Rujun

京胡

中国を代表する京胡演奏の第一人者。京劇の伴奏楽器であった古典楽器の京胡を独奏楽器として確立し、京胡による初の独唱独奏音楽会を北京で開催、高い評価を得る。雄大さを感じさせる演奏で多くのファンを魅了。また、演出家や役者、特に京劇の女形として大成功を収めるなど、多才ぶりを発揮。中国文化の最も注目すべきリーダーとして、各界で激賞されている。

マルコ・ベルティ

Marco Berti

テノール

イタリアで今最も注目されている若手テノール歌手。歌唱力は伝統的なイタリアの叙情的テナーとして際立ったものがあり、豊かな表現力も合わせて、オペラ界から高い関心を得ている。特筆すべきは、ドミンゴ指揮の「蝶々夫人」にメトロポリタン・オペラで出演し、その実力が認められたこと。欧米の著名な歌劇場から出演依頼を受けて、今後輝かしいオペラ・デビューを行なっていく。

パルマ・オペラ・アンサンブル

Parma Opera Ensemble

イタリア・パルマで名高いテアトロ・レージョを拠点にしている10人構成のオペラ・オーケストラ。1996年に結成。19世紀のオペラから、室内楽のためのクラシックのレパートリーを作り上げることが目的としている。国内外で高い評価を得、世界を舞台に活動中。全員がトップクラスのイタリアのオーケストラや室内管弦楽団で活躍する才能豊かなソリストである。

中国障害者芸術団

China Disabled People's Performing Art Troupe

中国障害者連合会という、国家機関に属する1987年に作られたアマチュアの芸術団体。中国各地6000万人の障害者の中から厳選された身体の不自由なアーティストが、生命への美しい憧れや堅忍の意志を表現するため、欧米を中心に公演を行なっている。今回は、2004年アテネ・パラリンピックの閉会式にも出演した、耳と口が不自由なダンサーが「千手観音」を披露する。

和楽器オーケストラあいおい

Japanese Traditional Music Orchestra "Ai-Oi"

東京藝術大学邦楽科の卒業生で結成された和楽器オーケストラ・グループ。松崎晟山(尺八)を中心とし、流派やジャンルを越えた若手邦楽演奏家が集まり、コンサート、ワークショップ、ファッションショーとのコラボレーション、また日本国内だけでなく海外に於いての演奏やウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者と共演する等、幅広い演奏活動を行なっている。

服部克久

Katsuhisa Hattori

音楽監督

日本の音楽界で最も成功した作曲家のひとり。作曲活動のかたわら、さまざまなジャンルの音楽監督やプロデューサー、また音楽祭の理事や審査員として精力的に活動を行なう。最近では、音楽家という枠を超え、イベント・プロデューサーやピアニスト、指揮者、司会者としてテレビ出演するなど、才気あふれる活躍が注目を浴びている。

以上

添付資料②

「JAL 音舞台」の歴史

過去 18 回の開催日、場所、主な出演アーティストは以下の通りです。

	開催日	開催場所	主な出演アーティスト
第 1 回	1989 年 9 月 29 日	金閣寺	鮫島 有美子(ソプラノ) 圓城 三花(フルート) マリア・バックマン(バイオリン) 他
第 2 回	1990 年 5 月 12 日	泉涌寺	パオロ・バルバチャーニ(テノール) 西村 由紀江(ピアノ)、伊藤 多喜雄グループ(民謡) 中村 児太郎・橋之助(歌舞伎) 他
第 3 回	1990 年 9 月 29 日	三千院	イゴル・アルダシェフ(ピアノ)、小倉 直子(ピアノ) ピエール・ピエルノ(オーボエ) 松本 美和子(ソプラノ) 他
第 4 回	1991 年 9 月 20・21 日	清水寺	ニューヨーク・シティ・バレエ 坂田 美子(薩摩琵琶) ギットゥーブラン・フランス金管五重奏団 他
第 5 回	1992 年 9 月 26 日	平等院	スタニスラフ・ブーニン(ピアノ) 中丸 三千繪(ソプラノ) 他
第 6 回	1993 年 9 月 5 日	東寺	佐藤 しのぶ(ソプラノ) 林 英哲グループ(和太鼓) ダンス・シアター・オブ・ハーレム(バレエ) 他
第 7 回	1994 年 9 月 10 日	泉涌寺	冨田 勲(シンセサイザー)、熊本 マリ(ピアノ) 五十嵐 麻利江(ソプラノ) クシャクタ(フォルクローレ) 他
第 8 回	1995 年 9 月 9 日	東寺	ヤニー(シンセサイザー) 錦織 健(テノール) 他
第 9 回	1996 年 9 月 7 日	延暦寺	キリ・テ・カナワ(ソプラノ) 長澤 真澄(ハープ) 他
第 10 回	1997 年 9 月 6 日	金閣寺	井上 道義(音楽監督)、野村 萬斎(狂言) 東儀 秀樹(雅楽) NY フィル選抜メンバー 他
第 11 回	1998 年 9 月 5 日	醍醐寺	久石 譲(音楽監督) ディーブ・フォレスト(ワールドポップス) バラネスク・カルテット(弦楽四重奏) 他
第 12 回	1999 年 9 月 4 日	大覚寺	斉藤 恒芳(音楽監督) マルセル・マルソー(パントマイム) ベレン・マジャ(フラメンコ) シークレット・ガーデン(ワールドポップス) 他
第 13 回	2000 年 9 月 9 日	清水寺	姫神(シンセサイザー) エヴィア(エレクトロニック・バグパイプ) クリスティーナ・レイコ・クーパー(チェロ) ローラ・フラウチ(ヴァイオリン) 他

第 14 回	2001 年 9 月 15 日	二条城	服部克久(音楽監督) イジー(ソプラノ) チェン・ミン(二胡)、玉野 和紀(タップダンス) 藤舎名生(横笛) 他
第 15 回	2002 年 7 月 14 日	法隆寺	東儀秀樹(音楽監督) ホセ・カレーラス(テノール) アジナイホール(馬頭琴) 他
第 16 回	2003 年 9 月 7 日	萬福寺	サラ・ブライトマン(ソプラノ) ユンディ・リ(ピアノ) ジャン・シャオチン(古箏) 他
第 17 回	2004 年 9 月 11 日	薬師寺	女子十二楽坊(ヒーリング／インスト) マルタ・セベスチャーン(ハンガリー民謡) ジョン・健・ヌッツオ(テノール) 中村勘太郎 他
第 18 回	2005 年 9 月 10 日	仁和寺	シセル(ヴォーカル) ロランド・ヴィラゾン(テノール) 金徳洙・金利恵(韓国伝統音楽、舞踊) 押尾コータロー(アコースティック・ギター) 他